

# 目録スキルアップのために

～知識と経験の共有をめざして～

平成15年度総合目録データベース実務研修

大橋 亜紀子  
菅生 優紀恵  
中橋 巧也

## この発表について

- はじめに(目録スキルアップとは?)
- 目録スキルアップのための3つの提案
- まとめ

## はじめに(1)

目録業務をスキルアップするためには、  
どうしたらよいか?

図書館職員間の知識と経験の共有  
(Knowledge Management)

## はじめに(2)

知識と経験を共有するための3つの提案

1. 共通マニュアルの作成
2. 研修の実施
3. Q&Aシステムの構築

## 1 共通マニュアルの作成

(効果)

- 自らの知識を整理できる
- 目録業務へ直接利用できる

## 1 共通マニュアルの作成

- 目録規則(NCR,AACR2)の全文DB  
ツールを効率的に使う為に  
ツールのみでは不十分な点を補う
- 重複書誌DB  
重複書誌の判断の一助として

## 1 共通マニュアルの作成

### 目録規則(NCR,AACR2)の全文DB

(効率的に)

- 全文を対象とした横断検索・一覧表示

(補足的に)

- 規則だけでは不十分な点について、解説・解釈を加える
- 各項目から、事例が参照できる
- 解説・事例については、随時更新

## 1 共通マニュアルの作成

### 重複書誌DB



## 1 共通マニュアルの作成

### 重複書誌DB

- 重複書誌、情報源、解説(判断根拠など)をセットとする
- フィールド・単語による検索機能
- 原因パターンでブラウズできる
- NIIによる作成が効率的
- 原因のパターン分析を行う事で、注意を喚起できる

## 2 研修の実施

(効果)

- 自らのスキルを高めることができる
- 知識や経験を個人だけではなく、職員全体のものとする事ができる

## 2 研修の実施

(どのような研修を行うか)

- **全国レベルでの研修**  
NIIによる実務研修(中級者向け)
- **各図書館レベルでの研修**  
有志による勉強会など

## 2 研修の実施

### 全国レベルでの研修

NIIによる実務研修(中級者向け)

(内容)

- 目録規則について(より細かな内容について)
- 各種典拠ファイルの作成方法
- 各種多言語資料(アラビア文字、ロシア文字など)の基礎知識や目録作成方法
- 電子資料に関する目録業務
- 委託業者への仕様書作成演習
- 図書館システム導入時の留意点
- TRCへの体験入社

## 2 研修の実施

各図書館レベルでの研修  
有志による勉強会など

(内容)

- 基本的には発表形式  
発表することで自らの知識も確かなものに…
- 有識者による講義形式も有効
- 各種多言語に関する基礎知識や目録を取る際の注意事項
- 日常業務の中で感じた疑問点
- NACSISニュースレターの紹介、目録規則の最新動向など
- 図書館学、情報学関係の論文の紹介
- 研修の報告
- NII目録講習会から一歩進んだ内容

## 3 Q&Aシステムの構築

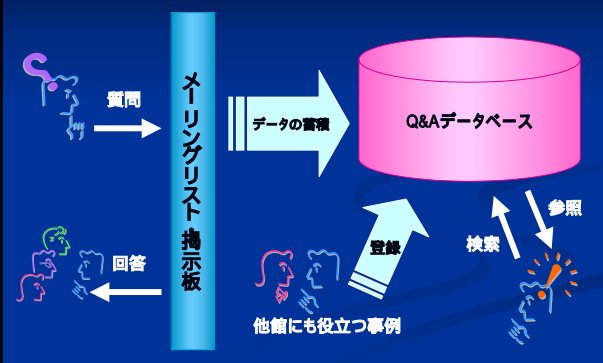
(効果)

- 知識のある職員が身近にいないとしても、業務上の問題の解決を図ることができる
- Q&Aという形で知識を蓄積・提供することによって、知識の共有が可能になる

## 3 Q&Aシステムの種類(1)

- **質問・回答のしくみとしてのメーリングリストや掲示板**  
実用化されているものを参考に、より効果的なものを
- **質問・回答データのDB**  
上記のしくみに寄せられたデータの蓄積  
直接職員同士で行われた質問・回答で、他館にも有効と思われるものは登録してもらう  
キーワードやフィールドで検索可能

## 3 Q&Aシステムの種類(2)



## 3 Q&Aシステムの範囲と構築(1)

各大学レベル

- 共通の環境と認識のもと、Q&Aシステムの構築と共有がしやすい
- より詳細な質問や個別的な質問が可能
- 人事異動やアウトソーシング時の教育等の対策にもなる

## 3 Q&Aシステムの範囲と構築(2)

より広い範囲: 大学間レベル、地区レベル、全国レベル

- 事例が増えることでより充実した内容になる
- 大学レベルではQ&Aシステムを作成できない小規模図書館も共有できる

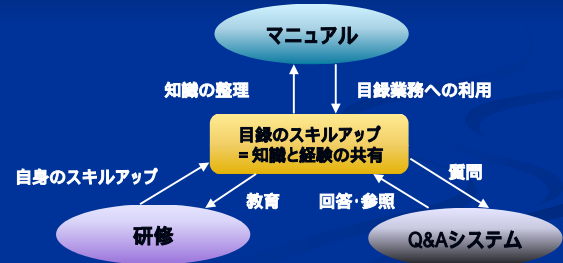
管理・運営については負担が偏らないようにする

## まとめ(1)

- いずれの方法に関しても、双方向であるべき  
恩恵を受けるだけ、与えるだけの一方的にならない
- 知識・経験を共有しようという意識が重要  
一人で完結せず、積極的に知識を共有させていく  
この意識が共有のための手法を支えていく

## まとめ(2)

### 3つの手法によるスキルアップへの効果



では、みなさま

研修後、各職場に戻られましたら

この意識でお互いにがんばっていきましょう。

*Fin*